

第3次大阪府食育推進計画(案)に対する意見等と大阪府の考え方

【募集期間】 平成30年1月19日(金曜日)から平成30年2月19日(月曜日)まで
 【募集方法】 電子申請、郵便、ファクシミリ
 【意見等の数】 2名から延べ3件(うち公表を望まないもの0件)

寄せられたご意見等の概要、ご意見等に対する大阪府の考え方は下記のとおりです。

No.	ご意見・ご提言	大阪府の考え方
第5章 取組みと目標(P31)		
1	第2次計画の評価で朝食欠食率【高校生・大学生】【C】野菜摂取量(7歳から14歳・高校生・大学生)【C】は憂うべき結果である。 成長期の身体をつくる大事な時期、学校での食育を重要課題として取り組んで頂きたい。	子どもたちが望ましい食習慣を身につけられるよう、市町村や地域、関係機関と連携し、学校での食育を推進してまいります。 また、大学進学等でライフスタイルが大きく変化し、生活リズムが不規則になりがちな時期に、朝食や栄養バランスのとれた食事をとることの重要性について理解を深められるよう、大学等と連携した食育を推進してまいります。
2	p.32「大阪ヘルシー外食推進協議会等と連携」について 認定を厳格にするよう大阪ヘルシー外食推進協議会に働きかけることを取組みに加えられるたい。 取組み自体は素晴らしいが、禁煙の飲食店であっても店入口横に灰皿を設置し客に喫煙の場を供したり、また小売店などではタバコの販売も手掛ける例が見られる。いずれも中途半端というべきでない。店入口で喫煙されては入店に際して他の利用者の受動喫煙が防げない。健康づくりを標榜するのであれば、タバコとは決別した店舗のみを認定対象とすべきだ。ついては敷地内禁煙及びタバコ販売しない店に限り認定するよう大阪ヘルシー外食推進協議会に働きかけられたい。	大阪ヘルシー外食推進協議会では、飲食店や惣菜店等に対して、店内禁煙やヘルシーメニューの提供等を推進しており、同協議会事業に賛同した飲食店を「うちのお店も健康づくり応援団の店」として承認しています。今後も大阪ヘルシー外食推進協議会と連携して取り組んでまいります。
第5章 計画の推進体制(P55)		
3	第2次計画の評価で「メタボ予防や改善のための適切な食事や運動している府民の割合」の評価が【C】で残念な結果になっています。第3次計画の重点課題では国も府も「健康寿命の延伸につながる食育の推進」としています。 計画の推進体制にオール大阪での推進体制が計画されていますが、計画を推進する各主体の役割と進捗状況を定期的に検証し、情報を共有し、目標達成のために、何を進めたらよいか、課題は何かの問題意識を持ち続ける事が大事と考えます。	目標の進捗状況については、毎年度、「大阪府食育推進計画評価審議会」において、評価・検証を行ってまいります。また、行政、地域団体、健康・福祉・農林水産及び教育分野等の各関係機関で構成する「大阪府食育推進ネットワーク会議」において、各機関の取組み状況や目標達成に向けて取り組むべき課題等の情報を共有し、オール大阪で推進してまいります。